

秋芳総合支所周辺の土地利用と 整備に向けた市民ワークショップ

第1回 「現状や課題などを確認し、秋芳総合支所周辺を目的や用途に分け配置し、必要な施設について検討しよう！」

日時 令和4年1月27日(木) 18時～20時

場所 秋吉公民館2階会議室

美祢市建設農林部建設課

★ ワークショップの狙い ★

- ◆ 総合支所周辺がもっと便利になればいいのに…
- ◆ 総合支所、小中学校、保育園などへのアクセスがもっと容易になればいいのに…

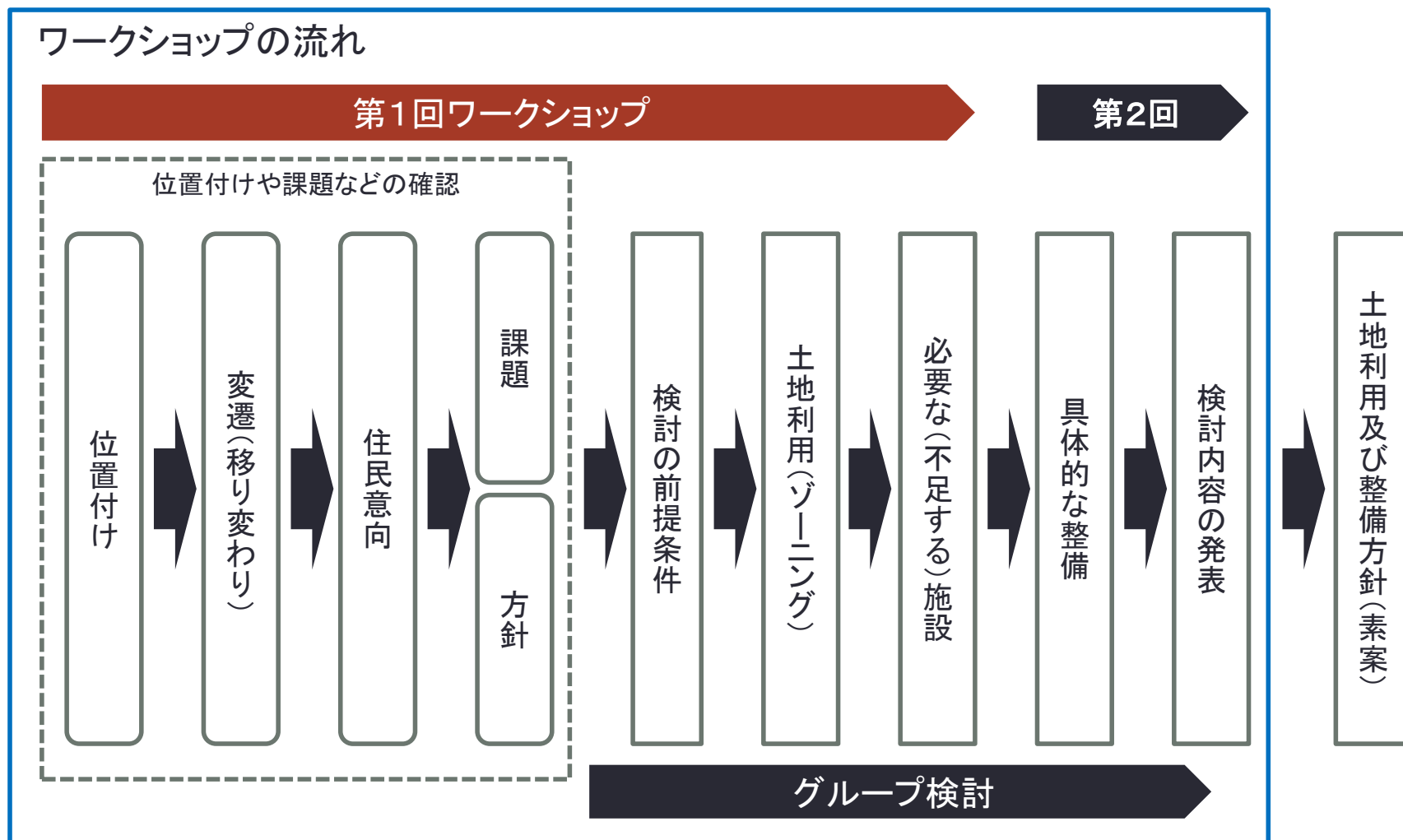
こんなことを感じたことはありませんか？

市では、「これまで」と5年、10年、20年後の「これから」を見据え、秋芳地域全体の日常生活と地域活動を支える拠点づくりを目的に、総合支所周辺の土地利用や整備に向けた検討を開始。



検討では、行政的な視点だけではなく、市民目線で総合支所周辺がどんなまちになったらいいか、みんなで意見やアイデアを出し合うワークショップを開催し、今後に反映！！

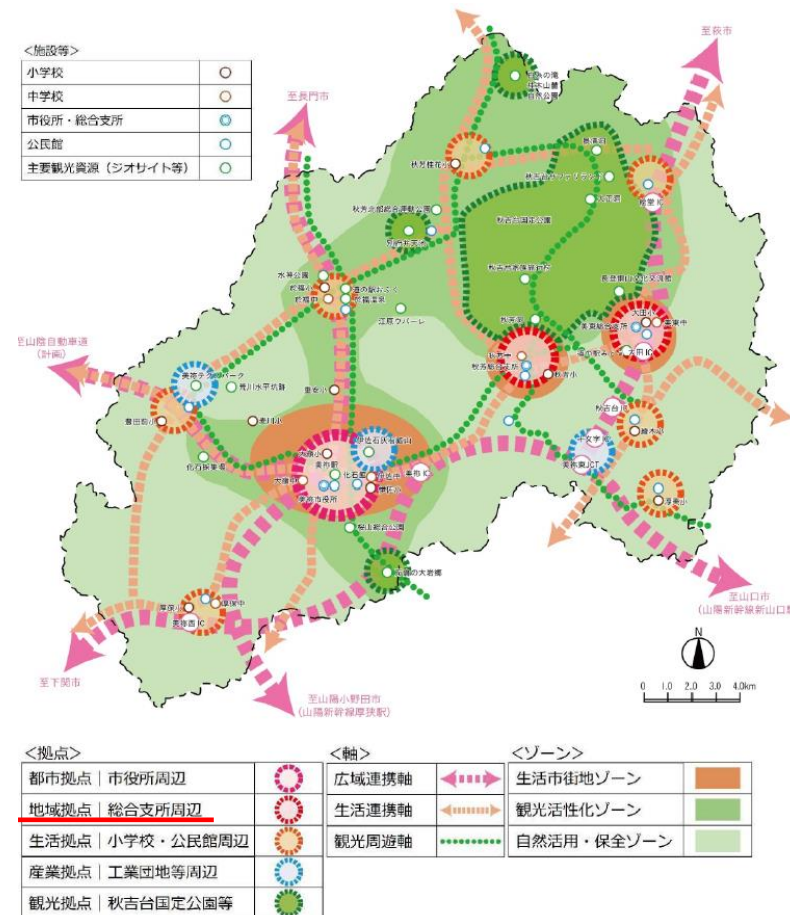
★ ワークショップの流れ ★



市の計画では、総合支所周辺の
位置付けがどうなっ
ているか、確認しよう！！

- 日常生活に不可欠な医療、福祉、商業等のサービス(施設)の確保
- 地域のコミュニティを醸成する拠点づくり

- ・ 秋芳地域の(集落)市街地
- ・ 秋芳地域の日常生活と地域活動を支える拠点
- ・ 生活サービス機能の維持・確保
- ・ 豊かな田園景観や山林・河川など豊かな自然を身近に感じながら暮らすことのできる居住の場



(3) 美祢市地域公共交通網形成計画 改訂版

- ・ 秋吉バス停は、バス・タクシーなどの主要な公共交通結節点

(4) 美祢市都市・地域拠点活性化計画

- ・ 秋吉バス停を起点に、人の流れや交流を生み出す
- ・ 市民の日常生活を安心・便利なものとするため、次の施設を維持・誘導

都市機能	維持・誘導する施設
行政	総合支所
福祉	総合福祉施設、地域包括支援センター、高齢者福祉施設、保健センター
子育て支援	保育所、児童クラブ
商業	小売店舗等
医療	病院・救急医療病院(美東地域のサービス圏域)、診療所
金融	金融機関、ATM
教育・文化	小・中学校、図書館、文化施設、公民館、生涯学習施設等
宿泊	宿泊施設



多様な都市機能が集積し、日常生活と地域活動を支える拠点としての整備が求められている。

総合支所周辺の
変遷(移り変わり)を
確認しよう！！

2. 変遷(移り変わり)

昭和期

- 昭和30年 共和村・別府村・秋吉村・岩永村の4村が合併
(旧秋芳町)
- 昭和32年 秋芳町役場完成(現秋芳総合支所)
- 昭和38年 秋芳南中学校校舎完成(現秋芳中学校)
- 昭和44年 町民プール完成、秋芳町福祉センター完成(現秋吉公民館)
町立秋芳図書館完成
- 昭和45年 町民体育館完成(現秋芳体育館)
- 昭和57年 高齢者コミュニティセンター完成(現秋芳地域福祉センター)
- 昭和60年 秋芳町保健センター完成

※昭和35年頃～ 高度経済成長などに伴い人口減少
※昭和54年頃 秋芳町の商店数のピーク



平成期

- 平成 2年 広域シルバー人材センター秋芳事務所開設
- 平成 7年 シルバーワークプラザ完成
- 平成20年 1市2町が合併し「(新)美祢市」が誕生
- 平成28年 秋芳テニス場完成
秋芳中学校プール完成(改修工事)



「魅力ある地域拠点づくり」始動

- 令和5～6年度 新総合支所庁舎の建設(予定)
- 令和7年度 現総合支所庁舎の解体(予定)



約70年ぶりにまちなみが変わるチャンス！
秋芳地域全体の利便性を取り戻そう！

これまで行われた総合支所周辺に
関するアンケート結果等を
確認しよう！！

3. 住民意向(アンケート・ワークショップ結果)

(1) 産業の振興や子育ての充実

■産業の振興のために市が力をいれるべきこと。(複数回答)

ほとんどの対象で「遊休農地の活用、後継者育成などによる第一次産業の振興」が上位にあがっています。「40歳未満」の比較的年代の若い方は「駅周辺地域などの活性化」「大型店を核とした商業地区の整備」が上位にあり、商業の活性化の要望が強い傾向にあります。

それぞれの割合を比べると、「40歳未満」では「駅周辺地域などの活性化」、「市職員」では「企業や研究機関などの誘致」が比較的高くなっています。



図 第二次美祢市総合 (抜粋)

(2) 子育ての充実 (第二次美祢市総合計画)

■子育ての充実のために市が力をいれるべきこと。(複数回答)

「乳幼児や子どもに対する医療費助成などの充実」が最も高くなっています。次いで、「一時保育(緊急時や用事の際などに一時的に預かる制度)の充実」が続いています。

分類ごとに割合を比べると、「40歳未満」では「保育所・幼稚園・子ども園の整備拡充」「子どもの遊び場の整備」が比較的高くなっています。

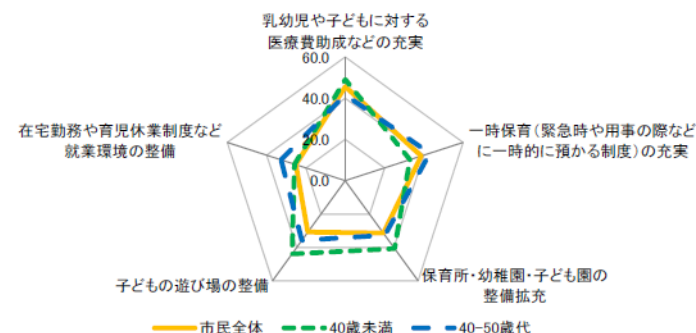
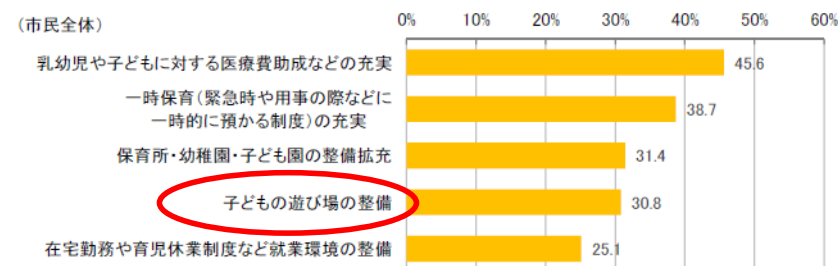


図 第二次美祢市総合 (抜粋)

(3) 秋芳町秋吉地区の強み、弱み、将来必要なこと（第二次美祢市総合計画）

■これまでの主な取組（地域が行っている地区振興の取組）		
・子ども相撲	・8月の夏祭り	・秋吉台山焼き
・バンド（音楽）	・公民館まつりの開催	・ガードレールの掃除
・交通立哨（民生委員）	・8/17 自生寺（くじ）	・秋吉八幡宮9月3日まつり
・公民館主催のテニス教室等	・赤間関街道 中道筋ウォーク	・夏休み宿題解決塾 絵画教室
・秋吉地域環境保全会への参加	・秋吉全体では秋芳ふれあい祭り	・各地区が行っているサロン活動
・夏まつり（公民館）（実行委員会）	・秋吉小学校 三代交流（田植え～稲刈り）	・自主的なボランティア活動（清掃・草刈りなど）
・ボランティアさんの見守り活動（一人暮らしの方）	・太鼓 大人（カルスト草花）や小人（小学校・中学校）	・婦人会での取組として弁当作り ふれあい給食の食事作り

■これまでの主な取組（地域が行っている地区振興の取組）		
■「地区の宝」（強み・魅力）		
・朝霧	・農協	・博物館
・自転車道	・秋芳の里	・赤間関街道
・秋吉公民館	・秋吉中学校	・秋吉小学校
・観光 展望台	・秋吉台山焼き	・総合支所がある
・カルストウォーク	・コンビニ ポプラ	・秋吉駅（バス停）
・山口銀行秋吉支店	・カルスト草花太鼓	・国定公園内で耕作
・秋吉台ジオマラソン	・空き家・空き地が多い	・博物館無料 カルスター
・コメ 秋吉にはコメあり	・空き店舗（フリースペース）	・豊富な森林資源 豊富な竹材
・地震が少ない、津波が来ない	・休耕田でブルーベリー栽培	・南海地震をビジネスチャンスに
・学生向け自然体験型の学習ができる	・無数の洞穴 トリーネ 耕作が可能	・秋吉台・秋芳洞 日本ジオパーク認定
・地球生い立ちの勉強の場としての秋吉台	・山口県を中心 市の真ん中 県の真ん中	・社協（フリースペース、リユースリビング）
・全国に誇れる人物がいた（本間俊平氏ほか）	・美しい自然がある 秋芳洞・湧泉（池）・秋吉台	

■これまでの主な取組（地域が行っている地区振興の取組）		
■「地区の課題」（弱み・改善点）		
・特産品	・一次産業	・自治意識
・空き家の利用	・観光のあり方	・協力体制づくり
・人任せ・人頼み	・まとまりがない	・老人クラブがない
・耕作困難な田が多い	・子供の遊ぶ公園がない	・ホテルがなくなった
・PDCA できていない	・もう若い者に任せよう	・人口減少 若い者がいない
・後継者不足 地域の引継ぎ	・ボランティア精神が乏しい	・秋吉広谷の商店街通りの改善
・秋吉台・秋芳洞の観光客開発	・公民館を中心とした活動の再考	・昔からの行事が継続できなくなった
・外国人労働者の人たちの交流がない	・団結力 市民の意見などを交えたまちづくり	・市役所 OB さんに参加してほしい意見を反映
・地域の活動にどうしたら多くの住民を参加させられるか	・秋吉台を見たあと、市外へ流れる人が多い（滞在時間が短い）	・秋吉台・秋芳洞付近で観光客が買い物・食事できる施設が少ない
・自然があるが、家族旅行村のスーパー・ジャングルジムを子供たちのために作ってほしい	・お店・飲食店がない、少ない（市民・観光客が気軽に立ち寄り、休憩・買い物ができる場所）	

■地区の将来に必要なこと		
行政面	・若者の働く場所	・バス停まで行く足がない
	・人口定住の取り組み	・地域を巡ってくれるミニバス
住民面	・体育館を利用しやすいように	・知人・友人を乗せるための道路交通法上の規制をゆるめる（お礼は受け取らない）
	・秋芳洞の無料開放	・総合支所のエリアをまとめる（図書館・公民館など）
		・秋芳支所の充実（テレビ電話等）
		・担当窓口の一体化（全ての業務を一つの課でこなす）
	・若者の力（30・40代）	・個別配達（お弁当や食品）
	・若者の定住（若者の住みたくなるまち）	・お店をつくってほしい
	・事業を担う最低限の人数（年齢層と数）	
	・博物館の活用	
	・秋吉台・秋芳洞の再開発（博物館の活用）	

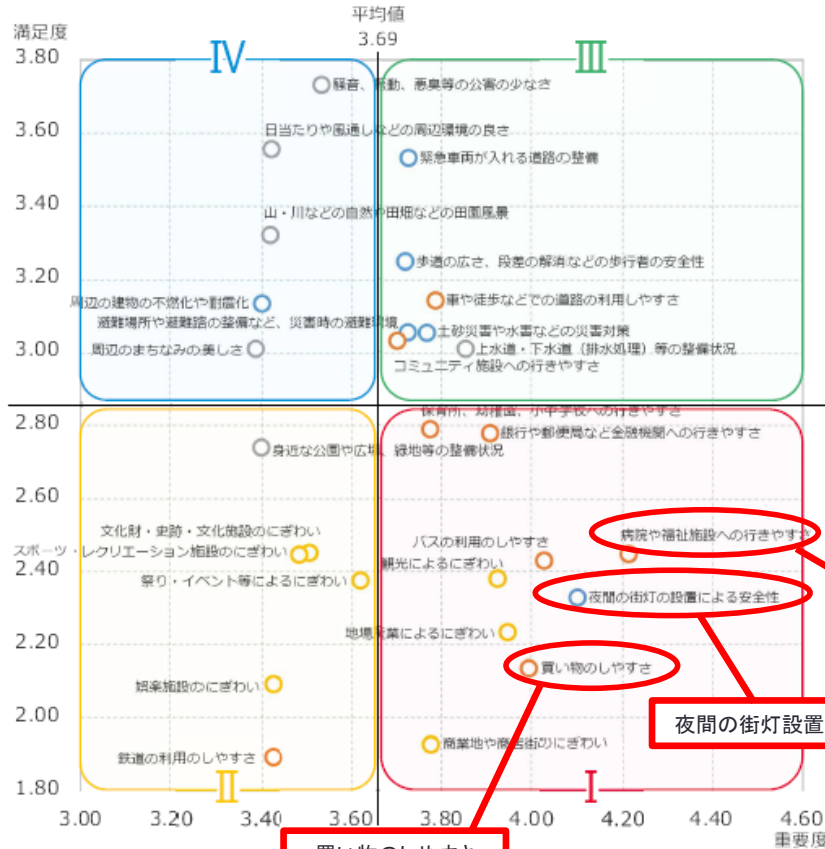
■地区を発展させる取組	
・観光ガイドの養成ツアー →地域の皆が秋芳洞・秋吉台を知る	・みんなが協力する体制をつくる
・季節ごとの観光ルートづくり （鱒・梨・ブルーベリー等）	・秋吉市・秋吉房の復活
・体験型観光開発	・数年の内に元気であるための健康づくりをする
・秋芳洞の駐車料金の無料化（入洞者のみ）	
・3億年が30分で歩ける道	
・空き家を別荘で売り出す・貸す	

(4) 秋芳地域の満足度・重要度（美祢市都市計画マスタープラン）

スーパーや商店街

表 分類評価

分類	評価	全市平均に対する満足度	全市平均に対する重要度
I	特に重点的に改善（満足度の向上）に取り組む必要がある	▼低い	▲高い
II	満足度は低いが重要度も低いため、優先順位が必ずしも高くない	▼低い	▼低い
III	満足度は高いが今後も取組を重点的に維持していく必要がある	▲高い	▲高い
IV	満足度を維持するため、今後も取組を維持していく必要がある	▲高い	▼低い

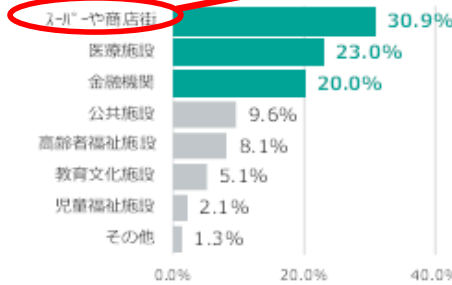


買い物のしやすさ

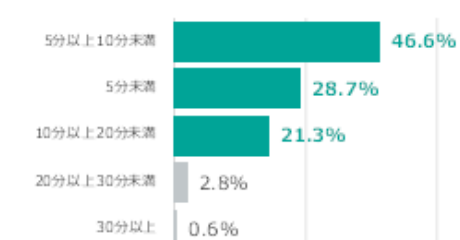
夜間の街灯設置による安全性

病院や福祉施設への行きやすさ

Q. 生活に必要な施設（3つまで）



Q. バス停までの所要時間

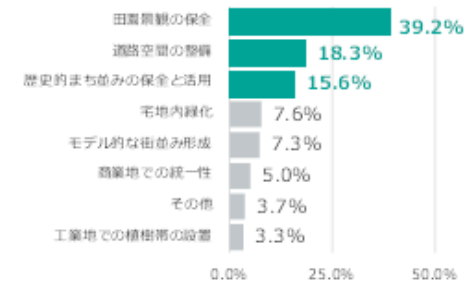


- 1 身近な道路の整備・改良
- 2 バリアフリー化のための道路整備・改良

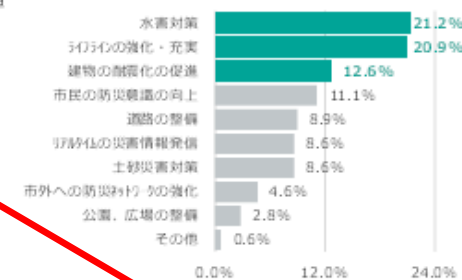
Q. 道路整備の優先順位（2つまで）



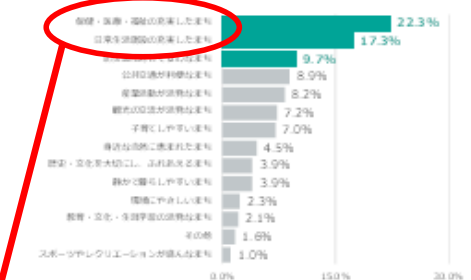
Q. 景観を守るために必要なもの（2つまで）



Q. 災害対策の優先順位（2つまで）



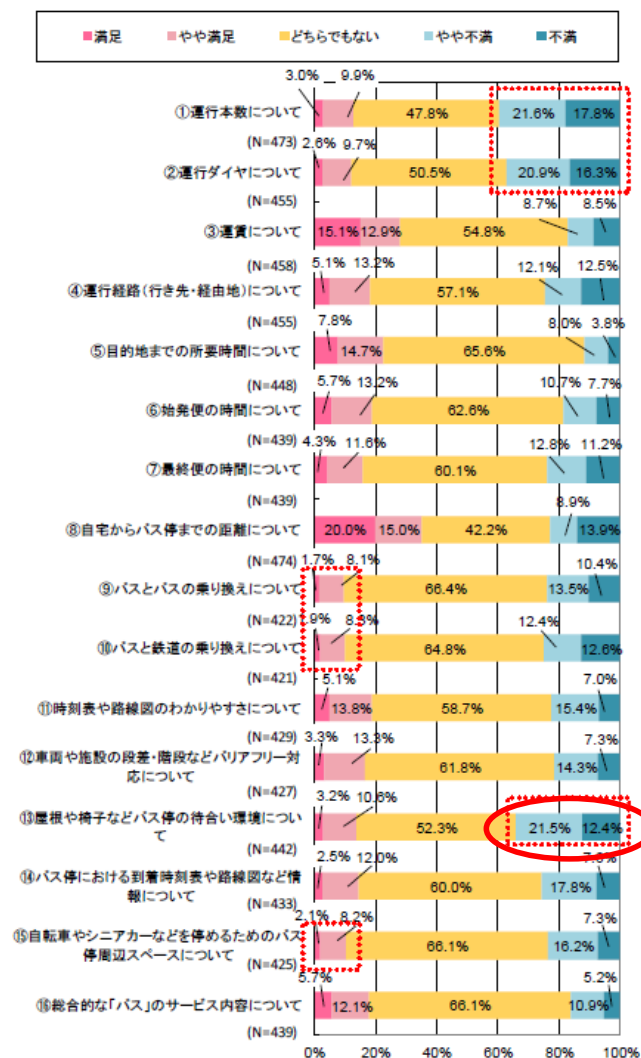
Q. 今後の重要なまちづくり（3つまで）



- 1 保健・医療・福祉の充実したまち
- 2 日常生活施設の充実したまち

(5) 路線バスやJR美祢線の満足度や要望等（美祢市地域公共交通網形成計画）

ア 高齢者の路線バスの満足度



屋根や椅子などバス停の待合い環境について

図 美祢市地域公共交通網形成計画（抜粋）

続いて、総合支所周辺の
課題と方針を確認しよう。

4. 課題

(1) 課題

① 都市機能の集約と整備を進めること（第二次美祢市総合計画）

- ・ 本市の広大な市域に各種機能を点在させるのではなく、都市拠点（本庁周辺）や**地域拠点（各総合支所周辺）の整備を進め**、本市に**必要な機能の集約**を図り、にぎわいの創出を図ることが求められている
- ・ 保健・医療・福祉の充実と、**日常生活施設の充実**したまちの実現が求められている

② 住み続けられる集落市街地環境づくり（美祢市都市計画マスタープラン）

- ・ 秋吉地区の集落市街地は、公共施設、店舗、病院等の生活サービス機能が集積しており、地域拠点として**秋芳地域の日常生活と地域活動を支える役割**を果たしており、既存の各種機能の維持・充実が求められている

③ 公共交通機関の乗継利便性の向上、待合環境の改善

(美祢市地域公共交通網形成計画 改訂版)

- ・ アンケート調査では、乗継で重要視する点として、「乗継便の情報を提示した時刻表などを用意する」が第1位、「乗継拠点の周辺で待ち時間を有効活用できる施設を誘致する」が第2位となっており、**待合環境の改善**などが求められている

④ 子育て支援策 (美祢市子ども・子育て支援事業計画)

- ・ アンケート調査では、「充実して欲しい子育て支援策」として、就学前、小学生ともに「**子連れでも出かけやすく楽しめる場所**」が第1位となっており、**安全が確保できる公園などの整備**(維持管理含む)・充実が求められている

5. まちづくりの方針

(1) まちづくりの方針

美祢市都市計画マスタープランでは、市全体の将来都市像や分野別・地域別のまちづくり方針が示されており、秋芳地域のまちづくり方針(取組を含む。)は、以下のとおりとなっている。

まちづくり方針 「豊かな自然に囲まれた緑と清流のまちづくり」

- 取組① 住み続けられる集落市街地環境づくり
- 取組② 豊かな田園景観を大切にしたまちづくり
- 取組③ 魅力ある観光地づくり
- 取組④ 豊かな水や緑と調和したまちづくり
- 取組⑤ 協働による防災まちづくり

今回ワークショップでは

行政的な視点だけではなく、市民のみなさまとともに、どんな施設がどこにあったらいいか？どんな整備をしたいか？を考え、ともに秋芳地域全体の日常生活と地域活動を支える拠点づくりを図りたいと思います。

限られた資源や財源を有効的に利用するために、みなさまのご意見をお聞かせください。



ここからは、総合支所周辺が
将来どんな街になったらいいか、
みんなで話し合おう！！

その前に、
検討の前提条件について
確認しよう！！

6. 検討の前提条件

(1) 検討する区域

検討する区域は、公共交通結節点である秋吉バス停を中心に半径800m圏(一般的な徒歩圏)内の黄色で塗られた区域とします。黄色以外の区域は、農用地区域、地域森林計画対象民有地、秋吉台国定公園区域特別地域に指定されており、農業や森林等を振興する区域とされています。

(2) 検討する内容

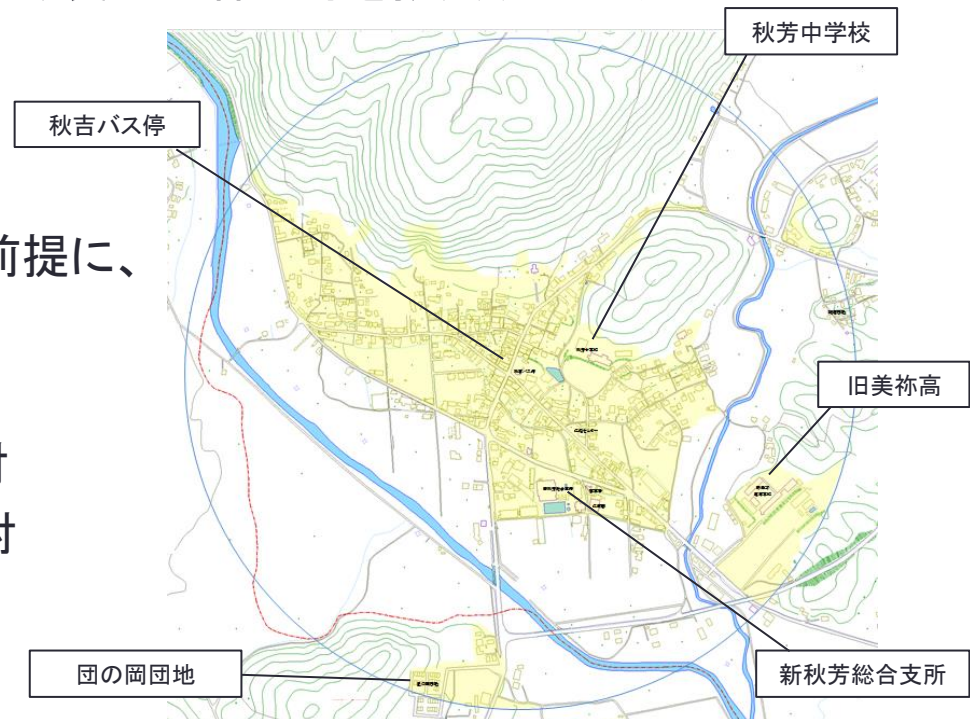
区域内の資源を活用することを前提に、以下の内容について検討します。

【第1回ワークショップ】

- ① 土地利用(ゾーニング)の検討
- ② 必要な(不足する)施設の検討

【第2回ワークショップ】

- ① 具体的な整備の検討



それでは、土地利用
(ゾーニング)について
グループで話し合おう！！



まずはじめに、グループで
自己紹介をしていただきます。

続いて、進行役と発表者(2回
目のワークショップ)を決めてく
ださい。

7. 土地利用(ゾーニング)の検討

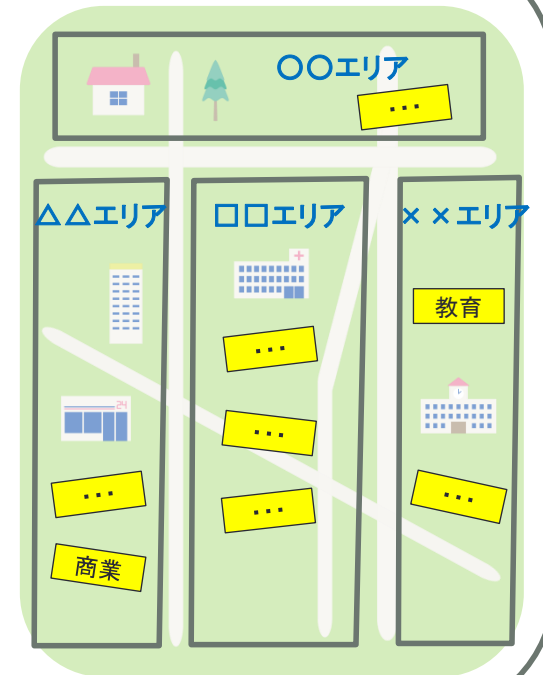
(1) 土地利用(ゾーニング)

土地の有効活用や市街地整備をはじめ、それぞれの場所の魅力を高めることで区域全体が便利で魅力あるまちとなり、今後(将来)の市街地づくりの基本にすることを目的に、区域内を目的や用途などに分け配置します(ゾーニング)。 ※これまでの**住民意向や課題も参考**としてください。

(作業手順)

- 各自で、これまでの内容(参考資料を含む)を踏まえ、地図を見渡し、「**5年、10年、20年後**、この辺りは〇〇な場所になってほしい」と思う、〇〇を付箋に記入し地図に貼付けます。
※〇〇は、名詞、形容詞、抽象的表現などその場所をイメージさせる内容を記述します。(付箋の色…**黄色**)
- グループで、付箋の内容を確認し、内容が共通するエリアをマジックで囲みます。この時、道路以外、マジックで囲まれていない場所がないようにしてください。
また、動線(人・車などの流れ)を地図に書き込むと適切な配置かどうか確認し易いです。
※時間に余裕があれば、エリアの名前をマジックで地図へ記入します。

(例)



次に、必要な
(不足する)施設について
グループで話し合おう！！

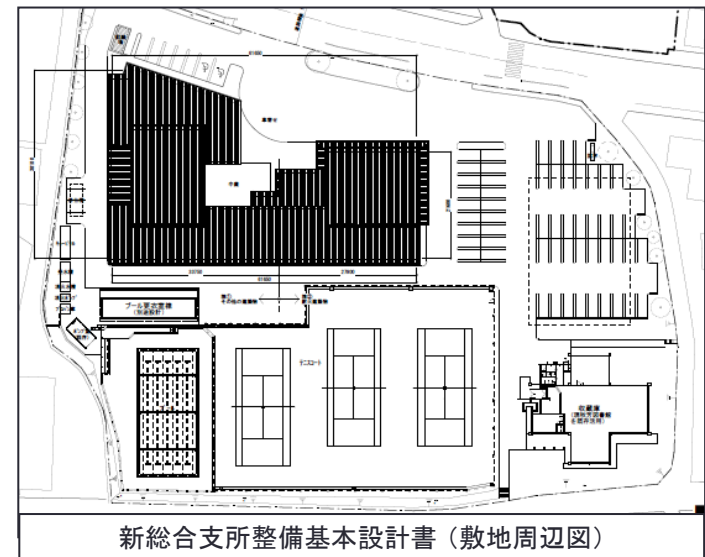
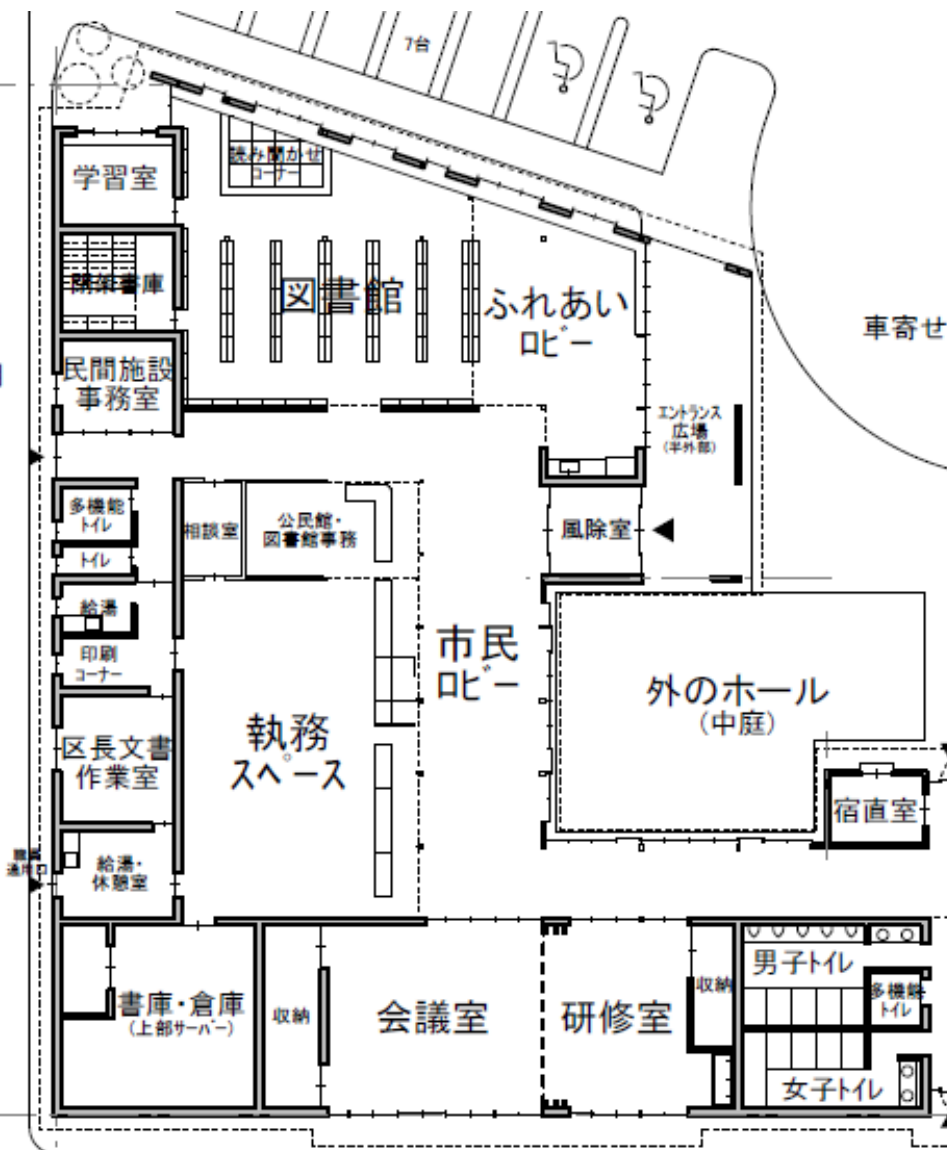
8. 必要な(不足する)施設の検討

(1) 必要な(不足する)施設

7. 土地利用(ゾーニング)で検討したエリアの実現を目的に、各エリアに必要な(不足する)施設について検討します。

(作業手順)

- 1 各自で各エリアに必要、もしくは不足すると思われる、市の施設、店舗、公園、トイレ、駐車場などの施設を付箋に記入し、地図に貼付けます。
この時、区域内に既にある施設を貼付けても構いません。
※ 新総合支所内で設置予定の機能(公民館、図書館など)も参考にしてください。(詳細は次頁参照)
(付箋の色・・・赤色)
- 2 グループで、エリア毎に貼り付けられた施設について意見を出し合い、整理します。



新総合支所整備基本設計書（配置図）

以上で、本日の内容を
終了しますが、

次回は、具体的な整備に
ついて検討します。

皆さまにはお手間をとらせてますが、次回ワークショップまでに本日検討した内容に基づき、各自で「区域内の具体的な整備案(資料2の7頁の別表)」について考えてきてもらいます。この時、まちをどのように使うのか(まちの使い方(次頁参照))想像していただくと、より具体的かつ多くの整備案を提案することができます。

そして、次回のワークショップでは、はじめに各自が考えてきた整備案を発表し合い、その後検討に移っていただきます。



（まちの使い方 例1）

休日の午後から、妻と子どもと3人で新総合支所に車を駐車し、秋芳テニス場でテニスをした。テニスを終え、近くのお店でソフトクリームを購入し、公園の東屋でほおばった。その後、子どもを公園で遊ばせた。夕方も近づき、近くのお好み焼き屋で早めの夕食をとり、その後、明日のお弁当用に、近くの集落コンビニ（仮称）でやさい、魚、お肉、ケーキなどを購入し、帰宅した。

（まちの使い方 例2）

平日、家で昼食をとった後、一人でバスを利用し、秋吉バス停まで移動。歯科診療を受診後、新総合支所で開催中の秋芳歴史展を楽しんだ。夕方から、近くのグラウンドでゲートボールを楽しみ、バスの乗車時間まで余裕があったため、新総合支所に戻り、図書館で読書した。

（まちの使い方 例3）

夕方、次の日の夕食用の食材購入のためスーパーで買い物を済ませ、部活帰りの子どもを迎えに外灯やトイレが設置済みの駐車場で子どもの帰りを待った。

検討の流れは、

各自が考えてきた整備案を発表し合い、みんなで意見を交わした後、グループとして整備内容を取りまとめる



グループでまとめた意見を発表



ご協力よろしくお願いします。

なお、せっかくの機会ですので、

お帰りの際は、他の班の検討結果を見てお帰りください。(ご不明な点等あれば、担当職員にお尋ねください)。

本日は、大変お疲れ様でした。
次回ワークショップ(3/24(木))も
どうぞよろしくお願いいたします。

美祢市建設農林部・建設課